

## 平成24年度上水道事業会計当初予算(案)の概要

## 予算のすがた

収益的支出と資本的支出を合わせた予算総額は、1,168億19百万円となり、前年度に比べ、10億52百万円、0.9%の増加となっています。

収益的収入が前年度に比べ6億54百万円増の729億96百万円に対して、収益的支出が前年度に比べ10億8百万円増の685億64百万円であり、その結果、純利益は、32億27百万円となりました。

(単位:百万円)(税込み)

区 分	24年度 当初予算案	23年度 当初予算額	対前年度比較		備 考	
			増減額 ( - )	比 率 /		
収 益 的 収 支	収益的収入	72,996	72,342	654	0.9 %	給水収益 65,177
	収益的支出	68,564	67,556	1,008	1.5 %	給水申込納付金 4,110
						人件費 8,323
						減価償却費 21,164
						支払利息 4,417
収支差益	4,432	4,786	354	7.4 %		
消費税資本的 収支調整額等	1,205	1,382	177	12.8 %		
純利益	3,227	3,404	177	5.2 %		
資 本 的 収 支	資本的収入	12,403	15,291	2,888	18.9 %	企業債 6,000
	資本的支出	48,255	48,211	44	0.1 %	国庫補助金 788
						建設事業費 28,940
収支差	35,852	32,920	2,932	8.9 %	企業債償還金 11,775	
支出予算総額	116,819	115,767	1,052	0.9 %		

資本的収支における35,852百万円の不足額は、消費税資本的収支調整額1,205百万円、過年度及び当年度損益勘定留保資金(減価償却費など)34,647百万円で補てんします。

## [ 企業債残高の状況 ]

平成24年度末の企業債残高は、前年度に比べ57億75百万円減少し、1,893億75百万円となる見込みです。

(単位:百万円)

23年度末残高見込 A	24年度当初予算案			24年度末残高見込 A + D
	借入額 B	償還額 C	差引 D = B - C	
195,150	6,000	11,775	5,775	189,375

## 主要事業の概要

中期経営計画 2011(計画期間:23～27年度)に掲げた5つの基本目標に沿って事業を推進します。

### 基本目標1 安全で良質なおいしい水をいつでも供給できる水道

水源の安定化(ダム建設事業等に係る水源分担金)	11億54百万円
ハツ場ダム	7億20百万円
工期：昭和42年度から平成27年度 建設事業の当局負担率3.3%	

高度浄水処理システムの導入	88百万円
柏井浄水場西側高度浄水処理施設に係る設計【新規】	88百万円

浄・給水場の設備等の更新	57億25百万円
柏井浄水場東側中間ポンプ電気設備更新工事	8億37百万円
松戸給水場ポンプ用電気設備更新工事	4億24百万円
福増浄水場中央監視等設備更新工事	2億88百万円
次亜塩素酸ナトリウム注入設備への転換 液化塩素から転換(柏井浄水場東側、同西側、福増浄水場、北総浄水場)	3億66百万円

管路の整備・耐震化	196億12百万円
鋳鉄管更新工事	96億55百万円
更新時期を迎える配水管の増加に対応して、計画的に更新工事を実施し、耐震化を推進する。 布設延長 60.2km	
災害復旧工事	11億34百万円
東日本大震災で被害のあった水管橋の補修及び配水管の耐震化を行う。 布設延長 9.6km	

送配水施設建設工事 2 6 億 7 1 百万円

安定給水確保のための管路の新設及びニュータウン事業の伸展に伴う管路の新設を行う。

第二北総～成田線送水管布設事業（布設延長 2.3km:7 億 81 百万円）

千葉ニュータウン線（布設延長 12.8km:17 億 6 百万円）

公共関連等配水管整備工事 3 2 億 8 6 百万円

外環道等の公共工事に際して支障となる既設管の移設等を行う。

外環道関連工事（布設延長 2.7km:13 億 3 百万円）

下水道等関連工事（布設延長 13.4km:17 億 98 百万円）

都市計画道路関連工事（布設延長 0.1km:1 億 85 百万円）

**おいしい水づくりの推進 8 3 百万円**

残留塩素の低減化 2 8 百万円

平均 0.4mg/ 以下（27 年度目標）を目指して低減化に取り組む。

塩素注入管理のためデータ収集と分析等を行う。

・連続測定装置による残留塩素濃度の測定 1 0 百万円

・受水槽内塩素消費量実態調査 1 8 百万円

安全・安心・おいしい水づくりキャンペーン等 2 5 百万円

・PR グッズ製作

・小学校等における水道出前講座

・ウォーターメイト（水質モニター）による蛇口水質モニタリング・意見交換

**基本目標2 行き届いたサービスと高い技術力でお客様に奉仕する水道**

広報事業 4 8 百万円

県水だよりの発行、ペットボトル水「ちばポタ」製造等

体験型水道技術研修 3 百万円

新規採用職員や他部局転入職員を対象に、仕切り弁操作、洗浄作業等の技術研修を実施する。

### 基本目標3 地震等の非常時にも強い水道

危機管理対策に係る経費 2 6 百万円

非常用飲料水袋の購入、非常時職員参集管理システム維持管理等

民間企業等との共同研究【新規】 9 百万円

東日本大震災における液状化と漏水事故発生状況の相関関係の研究及び応急活動の管理体制等の研究を行う。

### 基本目標4 環境に優しい水道

浄水場発生土処理 5 億 8 2 百万円

浄水工程において発生する汚泥を、セメント原材料や緑化培養土としてリサイクルする。

マイクロ水力発電設備の導入 3 8 百万円

北船橋給水場にマイクロ水力発電設備を導入するため、制御システムの改造を行う。

### 基本目標5 安定した経営を持続できる水道

情報化の推進 2 1 億 6 百万円

現在運用中の 2 0 の情報システムについて使用機器類の共通化・管理の一元化を推進し、業務能率向上及びコスト抑制を図る。